

## 看護学生の捉えた男子看護学生が母性看護を学ぶ意義

尾原喜美子 高橋永子 橋本和子\* 岡田久子\*\* 小松輝子\*\*\* 松本智津\*

高知大学教育研究部医療学系医学部門 〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

\* 福山平成大学看護学部 〒720-0001 広島県福山市御幸町岩成正戸 117-1

\*\* 高知県立山田養護学校 〒782-0016 高知県香美市土佐山田町山田 1361

\*\*\* 高知県立総合看護専門学校 〒781-5103 高知県高知市大津乙 811

### The significance of maternal care education for male students as viewed by nursing students

Kimiko OHARA, Eiko TAKAHASHI, Kazuko HASHIMOTO\*  
Hisako OKADA\*\*, Teruko KOMATSU\*\*\*, Chizu MATSUMOTO\*

Department of Nursing, Kochi Medical School

Kohasu Okoh-cho, Nankoku-shi, Kochi 783-8505, Japan

\* Fukuyama Heisei University,

117-1 Shoto, Kamiwanari, Miyukicho, Fukuyama, Hiroshima,

720-0001, Japan

\*\* Kochi Prefectural Yamada School for Mentally Retarded Children

1361 Yamada, Tosayamadacho, Kami-shi, Kochi 782-0016, Japan

\*\*\* Kochi prefectural synthesis nursing special school

811 Otsu, Otsu, kochi-shi, Kochi 781-5103, Japan

### 要約

本研究は、男子看護学生が母性看護を学ぶ意義を看護学生がどのように捉えているかを明らかにすることである。看護学生のレポートを分析した結果、175 の記述、30 のカテゴリー、7つのコアカテゴリーが抽出できた。【夫としての支援ができる】【母性看護実践での看護師としての役割】【同性からの支援】【夫婦、家庭への支援】【女性のライフサイクルへの支援】【母性看護領域以外での看護】【男性の目線からのアドバイス】の7コアカテゴリーである。男子看護学生が母性看護を学ぶ意義は、看護師としての役割だけでなく男性として、父親として、同性としての4つの立場で習得した知識や技術を活用し支援を必要とする人々に活用できるという意義を見いだしていた。母性看護について学習し、広く深い知識の習得・実習経験から男子看護学生の視野が拡大し、それぞれの対象に寄り添う質の高い看護実践能力が獲得できると考えられる。

### Abstract

The purpose of this study was to examine the recognition by students of the significance of maternity nursing education for male nursing students. We conducted an analysis of 175 comments and opinions from nursing students, and grouped them

into 30 categories and 7 core categories: “support as a husband”, “role of a nurse in providing maternal care”, “support from the same gender”, “marital and family support”, “support for women’s life cycle”, “nursing care not included in maternity nursing”, and “advice from a man’s point of view”. Students considered it significant for male nurses to learn maternity nursing in that they are able to provide support based on their knowledge and skills from various (four) perspectives: a nurse, male, father, and person of the same gender providing care for male patients. Through acquiring a wide variety of knowledge and experience in maternity nursing learning, male nursing students will broaden their perspectives and develop the ability to provide patients with quality nursing care as well as compassionate support.

キーワード: 男子看護学生 母性看護 学習意義

Keywords: Male nursing students, Maternity nursing, Significance of learning

### はじめに

看護は長い間、女性の仕事であると一般的に考えられており、看護師を目指す男性は極めて少なく、男性看護師の働く場所も精神科病棟などに限られることが多かった。近年、男性看護師の数は増加傾向にあり、当大学においても全看護学生の15～20%は男子看護学生が占めるという勢いである。男性看護師は看護業務内容に制約があり、男性看護師の抱える問題として、女性患者に対する羞恥心を伴うケアを行う場合限界があるのではないかとこの点があげられ、数年前までこのことは論議されていた。

近年、看護基礎教育における母性看護学実習は、性差を意識せずに学習できる環境作りが重要な課題となり、多くの取り組みがなされている。

しかし、看護学生2年生の母性看護学演習時に、一人の男子学生から「母性看護学実習を行うことへの不安と戸惑い」を訴えられ、「母性看護学実習を行う意義について」の質問があり、男性であるが故に、看護学や母性看護学の基本を習得したとしても、抵抗感や違和感を抱き実習に消極的になる男子看護学生がいるという事実をあらためて感じた。妊娠・出産・育児というライフイベントは、女性特有の身体的・精神的な経験であり、母性実習での経験は女性の看護学生には命への畏敬や感動、母親となる喜びなどの体験となり、学生の成長を助ける機会となっている<sup>1)</sup>。男子学生にとっても女子学生同様に、母性看護学実習において看護学生として、女性の心理や身体の変化等を含めライフイベントへの参加から多くの学びを体験し、不安や抵抗感なく積極的に実習に参加し環境への順応にいたって欲しいと考える。そこで、男子看護学生と共に学ぶ看護学生は、男子看護学生が母性看護を学ぶ意義をどのように受け止めているかを明らかにし、学内演習や臨地実習での教育的示唆を得たいと考えた。

## I 研究目的

看護学生は、男子看護学生が母性看護を学ぶことにどのような意義を見いだしているのかを明らかにすることで、学内演習や臨地実習での教育的示唆を得る。さらに、男子看護学生の母性看護学実習目標達成への指導方法開発に役立てる。

本調査における用語の定義として、「男子看護学生」とは、基礎看護学教育を受ける男性の看護学生であり、「男性看護師」とは、基礎看護学教育終了後、看護師の資格を有したものとする。

## II 研究方法

### 1. 対象

A 県内看護系大学 2 年生で研究協力の得られた 61 名とした。

### 2. 調査期間・時期

2007 年 2 月、母性看護学関連授業を全て終了直後。

### 3. 調査内容・分析方法

2 年生の前期で履修する母性看護学概論 2 単位、後期で履修する母性看護援助論 2 単位の授業、そして演習の全てが終了した後に「男子看護学生が母性看護を学ぶ意義」について、学生個々の思いを自由記述したものを後日提出してもらった。この内容を、研究者が母性看護を学ぶ意義の内容を含むセンテンスを一記録単位として内容を読み取った。個々の記録単位を意味内容の類似性に基づき分類し、同質の意味をカテゴリー化し、中心となるテーマとして命名していった。データの分析やカテゴリー化においては、小児・母性看護学教育、基礎看護学教育を専門とする教員により分析内容の信頼性と妥当性の確保に努めた。

## III 倫理的配慮

学生に研究の趣旨や無記名で強制でないこと、データは研究以外に使用しないこと、成績とは無関係であることなどを説明し同意を得た。

## IV 結果

看護学生のレポートから、男子看護学生が母性看護を学ぶ意義について記述している内容を導き出した結果、175 の記述が抽出できこれらを分析対象とした。この内容を分析した結果、30 のカテゴリー、7つのコアカテゴリーにより形成されていた。

【 】はコアカテゴリー名、< >はカテゴリー名を示す。

コアカテゴリーは、【夫としての支援ができる】【母性看護実践での看護師としての役割】【同性からの支援】【夫婦、家庭への支援】【女性のライフサイクルへの支援】【母性看護領域以外での看護】【男性の目線からのアドバイス】であった。

男子看護学生が母性看護を学ぶ意義は、看護師としての役割だけでなく男性として、父親として、同性としての4つの立場で習得した知識や技術を活用し支援を必要とする人々に活用できるという意義を見いだしていた。

表 1 にコアカテゴリーの定義を示す。(表1)

### 1. 第1コアカテゴリー【夫としての支援ができる】

【夫としての支援ができる】は、母性看護学を学んだ男性看護師は結婚後、夫としての役割が明確・具体的にとれることである。〈パートナーとしてサポート〉〈夫としての役割に役立つ〉〈共に生きる〉〈日常生活支援が具体的にできる〉〈相談しやすい存在〉〈身近な存在としてサポート〉〈父性の視点からのサポート〉〈育児への積極的な参加が促進する〉の8カテゴリーからなっていた。(表 2)

### 2. 第2コアカテゴリー【母性看護実践での看護師としての役割】

【母性看護実践での看護師としての役割】は、母性看護領域において男女関係なく看護師として果たすべき責任や役割のことである。〈個別性のある看護の実践〉〈妊産婦の異常に対処できる〉

〈男女関係ない看護師としての役割の自覚〉〈母性看護での男性看護師の役割〉〈母性領域での看護の必要性〉の5カテゴリーからなっていた。(表3)

### 3. 第3コアカテゴリー【同性からの支援】

【同性からの支援】は、男性看護師としての特性を生かして夫や男性の立場を理解した支援ができることである。〈父親学級での同性としての指導〉〈夫(男性)の相談相手〉〈夫(男性)から頼られる存在〉〈父親の心理的変化(気持ち)への支援〉〈男性のストレスの軽減につながる〉の5カテゴリーからなっていた。(表4)

### 4. 第4コアカテゴリー【夫婦・家族への支援】

【夫婦、家族への支援】は、男性看護師が一家族成員として家庭内で起こる様々な出来事に上手く対応できることである。〈妊産褥婦の家族の支援〉〈夫婦・家族の絆が深まる〉〈夫婦・子どもへの愛着の促進〉の3カテゴリーからなっていた。(表5)

### 5. 第5コアカテゴリー【女性のライフサイクルへの支援】

【女性のライフサイクルへの支援】は、母性看護を学ぶことで女性の理解が深まり女性の成長各期への具体的支援ができることである。〈女性の大きな味方〉〈思春期の子どもに対する性教育への対応〉〈女性の人権を尊重した看護が実践できる〉の3カテゴリーからなっていた。(表6)

### 7. 第6コアカテゴリー【母性看護領域以外での看護】

【母性看護領域以外での看護】は、女性の理解が深まり、他科の女性患者への健康回復・維持に役立つことである。〈全ての女性に役立つ〉〈全ての女性患者の看護に役立つ〉の2カテゴリーからなっていた。(表7)

### 7. 第7コアカテゴリー【男性の目線からのアドバイス】

【男性の目線からのアドバイス】は、看護師として学び得た知識・技術と男性としては視点両者を併せ持ち看護が行えることを意味する。〈女性の気持ちの理解〉〈男性の目線からのアドバイス〉〈男性だからできる業務〉の3カテゴリーからなっていた。(表8)

表1 コアカテゴリーの定義

	コアカテゴリー名	定義
1	夫としての支援ができる	母性看護を学んだ男性看護師は結婚後、夫としての役割が明確・具体的にとれることである
2	母性看護実践での看護師としての役割	母性看護領域において男女関係なく看護師として果たすべき責任や役割のことである
3	同性からの支援	男性看護師としての特性を生かして夫や男性の立場を理解した支援ができる
4	夫婦・家族への支援	男性看護師が一家族成員として家庭内で起こる様々な出来事に上手く対応できることである
5	女性のライフスタイルへの支援	母性看護学を学ぶことで女性の理解が深まり女性の成長各期への具体的支援ができることである
6	母性看護領域以外での看護	女性の理解が深まり、他科の女性患者への健康回復・維持に役立つことである
7	男性の目線からのアドバイス	看護師として学び得た知識・技術と男性としての視点の両者を併せ持ち看護が行えることを意味する

表 2 夫としての支援ができる

	データ	カテゴリー	コアカテゴリー
1 53 102 114	母親の出産・子育てについて理解の促進 妻のサポートができる パートナーのことをより理解することで充実した出産につながる 父親になるにあたって一番近くで妻を支えることができる	パートナーとしてサポート	
78 71 92 107 63 95	妻への気遣いが一般の人よりもできる 父親になったとき、女性を理解して適切なサポートができる 将来自分の家族が増えた時に、役立つ 出産育児などに積極的に協力することができる 自分が父親になったとき、また、父親となる人に適切なアドバイスや支援ができる 「妊娠・出産・育児」を男性の立場からも支援する	夫としての役割に役立つ	
75 161 64	女性と一緒に生きていくためには必要なこと 出産の大変さや子ども大切さが実感できる 結婚してからのパートナーとしての役割を果たす	共に生きる	
39 59	日常生活において役立つ 家庭で生かせる	日常生活支援が具体的にできる	
86 110 10 88 137 138 147	夫も同性である援助者には気兼ねなく相談することができる 父親に対して男性看護師はよい相談相手になる 男性看護師は夫の相談相手 男性の患者さんにとり、男性の看護師が話しやすい 男性の看護師に父親が相談しやすい 妊婦の夫は同性の看護師が接しやすい 疑問に答え親身に相談・アドバイスができる	相談しやすい存在	夫としての支援ができる
61 83 85 121	同性の男性に対してだからアドバイスができる パートナーとして同じ男性に的確な指導ができる 同性の立場で適切なサポートができる 男性を男性の視点からサポートできる	身近な存在としてサポート	
27 32 36 145 119 144	育児や母親のメンタルケアが男性の立場から妻に合う方法を支援できる 違った目線で物事を捉え、患者の深い理解につながる 妊娠・分娩期の看護を行うことができる 新生児ケア、夫への指導など男性が行えるケアがある 男性でも行えるケア、夫への指導や新生児ケアなどがある 父性の視点から父性に対する看護ができる	父性の視点からのサポート	
34 4 5 11 14 66	父親になった時に活用できる 男性の育児参加がスムーズ 育児の母親の負担が軽減 夫となったとき最大の力 自分の子どもができたとき、知識が役立つ 育児に参加する意志が強くなる	育児への積極的な参加が促進する	

表3 母性看護実践での看護師としての役割

	データ	カテゴリー	コアカテゴリー
8	個別性のある看護の実践のため	個別性のある看護の実践	母性看護実践での看護師としての役割
33	看護計画を立てるのに役立つ		
49	様々な視点からアセスメントすることができる		
43	個別性の高い看護が可能になる		
151	効果的なケアにつながる		
84	どの病棟でも的確な女性のアセスメントができる		
16	救急時の妊産婦の励ましに役立つ	妊産婦の異常に対処できる	
38	異常時の指示や対処ができる		
140	緊急の場合大切である		
143	異常の対処を知ること以最善の策をとることができる		
141	多くの視点で物事を捉えることが大切である	男女関係ない看護師としての役割の自覚	母性看護実践での看護師としての役割
69	性別に関係なく行える		
164	看護師の立場から正しい情報を提供し、母子ともに健康への支援ができる		
113	妊婦の健康増進や危険因子を避けることができる		
133	母性の発達理解が進む		
172	妊婦や成人女性の看護が実施できる		
44	男性役割が母性看護にも大きく関わっている	母性看護での男性看護師の役割	
93	男性が積極的に分娩や育児に関わる雰囲気を作ることができる		
104	妊娠から出産という過程で、相談や指導等、男性看護師としての関わりがある		
41	助産師を希望する男性も増える		
111	産婦人科においても男性看護師の重要度は高い	母性領域での看護の必要性	
109	助産師にはなれないが、産婦人科の看護師として働くことはできる		
28	男性看護師の母性領域への参加		
129	産科・婦人科に男性医師がいるように、看護師に男性がいてもおかしくない		
174	男性がいて助かったというように男性看護師の活躍の場は多々ある		
133	母性看護学発展のために男性が母性看護学を学ぶ必要がある		

表4 同性からの支援

	データ	カテゴリー	コアカテゴリー
22	父親への指導	父親学級での同性としての指導	同性からの支援
54	父親学級などで同性としての指導ができる		
173	男性看護師が母性看護学を学習すると付き添いの男性の気持ちが分かる	夫（男性）の相談相手	
19	男性看護師は夫の不安や問題の共有ができる存在		
26	男性看護師には夫の気持ちや戸惑いがわかる		
90	男性看護師にしかわからないことや男性だからできることがある		
94	同じ男性だからこそわかりあえる悩み、不安が軽減する		
96	男性看護師は男性の気持ちをストレートに察知することができる		
29	夫の悩みについて、男性の立場で考えることができる		
168	同性にはできない相談を受けることで円満な夫婦関係、妊娠生活への支援ができる		
169	男性が積極的に妊娠に関わることができる	夫（男性）から頼られる存在	
157	父親の母性看護理解には男性看護師の存在が大きい		
167	男性のライフスタイルの変化のよい相談相手になる		
45	夫婦の“男性側”にも焦点を当てる		
60	父親への育児支援に役立つ	父親の心理的变化（気持ち）への支援	
130	男性（夫）にとり、頼りになる		
152	男性からも頼られる		
23	夫より身近な存在になる		
97	同性であることを生かし、夫の気持ちを十分理解できる		
124	父親の心理的变化に対する援助ができる		
120	夫の気持ちに共感し、妻を支えることに対する支援をする	男性のストレスの軽減につながる	
134	夫に対して同じ男性として気持ちが理解できる		
150	より相手の気持ちにたった行動ができる		
131	男性の疑問や不安、ストレスの軽減には女性より男性看護師が適切である		
146	男友達が疑問や相談事をぶつけてくる	男性のストレスの軽減につながる	
106	男性により精神的なストレスが解消される		
127	女性ではケアできない男性特有の悩みに対応できる		

表5 夫婦・家族への支援

	データ	カテゴリー	コアカテゴリー
160	妊娠期間の家族の支えになることができる	妊産褥婦の家族の支援	夫婦・家族への支援
57	妊婦の家族への支援ができる		
123	家族と妊婦との架け橋になる		
50	親になれば、子ども・家族・過程を考える場面で知識が役に立つ	夫婦・家族の絆が深まる	
80	夫という存在の重要性、女性を支える存在について理解でき指導できる		
108	家族へのケアも男性が行うことによってより身近なものとなる		
142	夫への指導や新生児指導、家族への支援などができる		
163	夫、家族の立場から支援することができる		
118	知識を活用して男性に妊娠や妊娠時の苦痛などを伝える役割がある	夫婦・子どもへの愛着の促進	
175	女性ができない部分を男性が、男性ができない部分を女性が補う		
128	男性の悩みや夫婦間のつながりの強化に影響を与える	夫婦・子どもへの愛着の促進	
6	子どもへの愛着が一層わく		
67	子どもとの絆が強くなる		
72	夫婦の絆や、子どもへの思いも深めることができる		
87	男性看護師は妊婦と家族をつなぐ役割ができる		
76	父親としての自覚や児への愛着度が湧く時期が早くなる		

表6 女性のライフサイクルへの支援

	データ	カテゴリー	コアカテゴリー
98	妻の妊娠に際し、精神的に支えられる夫の存在は妻にとり心強い	女性の大きな味方	女性のライフサイクルへの支援
132	妻のサポートをできる夫はとても頼りになる		
15	男性が学ぶことによって、女性の救いになる		
22	夫が妻の妊娠の苦しみをすることは女性にとり安心できる		
126	妻は男性から支援を受けることで夫の気持ちを理解しやすくなる		
3	思春期の男性の性問題に対応	思春期の子どもに対する性教育への対応	
7	思春期男子への性への対応が可能		
116	男性の性教育、男性不妊患者への看護、男性に避妊指導ができる	女性の人権を尊重した看護が実践できる	
70	倫理観にも大きく影響する		
77	自分の存在や出生に感謝の心が芽生え、虐待などが減る		
82	女性が女性として生きていくことを尊重した看護ができる		
81	女性の自己決定権を尊重した看護ができる		

表7 母性看護領域以外での看護

	データ	カテゴリー	コアカテゴリー
73	世間一般の女性たちへも理解を示すことができる	全ての女性に役立つ	母性看護領域以外での看護
170	女性の妊娠が楽になり、女性の負担を軽減させる		
148	女性患者に知識が役立つ		
47	どの科に行っても対応できる	全ての女性患者の看護に役立つ	
52	他領域で女性患者のアセスメントなどに役立つ		
139	産婦人科に勤めなくても妊婦に接することができる		
155	母性以外の領域で母性を学んだことが生かせる		

表8 男性の目線からのアドバイス

	データー	カテゴリー	コアカテゴリー
62	妊娠、出産、育児に対する不安の和らげになる	女性の気持ちの理解	男性の目線からのアドバイス
79	心理的支援ができる		
165	女性の気持ちの理解、援助がより円滑に行える		
166	女性患者の気持ちの理解、援助が円滑に行われる		
159	女性のもつ不安に対し、正しい知識を用いて緩和させることができる		
149	女性、妻の気持ちが分かる		
9	パートナーとして男性の目線からアドバイスができる	男性の目線からのアドバイス	
136	男性という目線から意見が出せる		
154	男性の視点から物事を見ることができる		
42	男性だから、男性にしかできない役割や仕事	男性だからできる業務	
30	男性ならではの疑問や質問、悩みへのアセスメントができる		
91	男性に力が必要な場面が色々出てくる		
89	体力や力が女性よりあるので苦労や負担が少しは軽減される		
101	男性は力もあるし、臨床の場で役に立つ		
20	男性看護師の視点からできることがたくさんある		

## V 考察

本研究の結果、男子看護学生が母性看護を学ぶことは、男性看護師としての役割だけでなく男性、父親、同性としての4つの立場で支援できることに意義を見いだしていた。

### 1. 看護師としての役割

【母性看護実践での看護師としての役割】の取れることや【母性看護領域以外での看護】での意義を見出していた。看護師であるから当然といえば当然ではあるが、男性看護師は、学生の際は母性病棟で臨地実習を行うが、卒業後看護師として産科・婦人科病棟で働くことは少ない。臨地実習においても、妊産褥婦の男子看護学生の受け入れは十分とは言えない。菊永<sup>2)</sup>の述べるように、受け持ち妊婦が母性の実習に遠慮がちな男子学生に対し、母性の実習が実りあるものになるように積極的に関わるよう、叱咤し励ましてくれるような妊婦と出会えた場合は、女性を理解し母性看護学実習の経験を発展的に捉え女性の看護実践につなげていくことができると考える。しかし、その逆の場合もあり、母性看護学実習での苦い経験は、母性看護に対する嫌悪感を生むことになることも推測できる。今回の調査では、対象の看護学生の多くは、男性看護師の母性病棟での役割は、男性・父親という立場での指導や相談ということ、また緊急時の対応など活躍の場面は広く、積極的に母性領域で働くことの必要性を述べていた。

母性病棟以外の病棟に入院中の【女性のライフサイクルへの支援】も、母性看護学実習で得た経験を活かし女性の体や心の理解とともにライフサイクルにおけるイベントを理解し、積極的な支援の手が差し伸べられるのではないかと考えられる。

### 2. 男性としての役割

男性は結婚すると夫となりやがて父親となる。男子看護学生が母性看護を学ぶことで、結婚後、自身の妻や子に対し夫としての支援の枠が広がると考えていた。妻のパートナー、夫として妻を気遣い女性を理解し、出産・育児に積極的に協力できる存在となるのではないかと捉えていた。妻と共に家庭を築き、男性看護師自身の生活で学んだ知識や技術を活用し、夫婦のパートナーとしての絆が深まるのではないかと捉えていた。

看護実践においても、母性看護学で学んだ知識や技術、経験は、どの領域の看護においても有効で、特に病気で苦しむ女性の家族、夫への支援は、女性の体や心を理解し、寄り

添う経験から具体的に有効な働きかけが行えるのではないかと考えていた。さらに、男性の目線で夫や男性に対しアドバイスができる存在となり、女性の抱く不安や心配に対し心理的な支援が行えるのではないかと考えていた。男性ならではの疑問や質問、悩みにアドバイスでき、男性患者にとっても心強いサポーターとなるのではないかと考えられる。

### 3. 父親としての役割

前述の男性としての役割とも重複するが、男子看護学生が母性看護を学ぶことは、家庭内で起こるさまざまな出来事やライフイベントに的確に対応できると考える。家族の絆は、Olson<sup>3)</sup>によると、適応性と凝集性とコミュニケーションによりなり、健康な家族ほど出来事を柔軟に受け止め、家族内の円環的コミュニケーションを利用する問題解決する力を持っているという。このような健康な家族としてあるべき姿を看護師なら誰もが看護学の中で学び、どうすることが家族にとり望ましい姿なのかを理解している。男性看護師は、夫婦として円満な家庭を築くことの知識と技術を併せ持ち、さらにケアリングを学んでいることから、人との関係性のあり方や思いやりいたわりといった病気や障害をもつ人々に関わることの技を持っている。また、家庭での父親役割は他のどの男性よりも有能ではないかと考える。

### 4. 同性としての役割

男子看護学生が母性看護を学ぶことで、男性看護師としての特性を活かして夫や男性の立場を理解した支援ができる。更に、父親学級で同性として父親への支援や、夫（男性）の悩みや不安、欲求に対する支援ができる。柏木<sup>4)</sup>は、「スポック博士の育児書」で示された子育ての主役は母親、父親はサポート役としていた時代から、子どもの発達に及ぼす父親の責任は、母親の責任と同じだとし、父親と母親とを子育てと子どもの発達上の共同責任者と変化していると述べている。男性看護師は、父親の同性として家庭における父親の役割指導や支援を送ることができる。また、男性の体や心の支援者として、夫の気持ちに共感し、妻を支える夫を支援することができる。同性として夫の気持ちに深く寄り添い、具体的な支援対策が取れるのではないかと考える。男性の疑問や不安、ストレスも同性ならではの理解できることもあり、男性特有の悩みの相談にも応じることができるかと考える。

母性看護について広く深い知識・経験を獲得することで、男子看護学生の視野が拡大し、4つの立場でそれぞれの対象に寄り添う質の高い看護実践に結びつくことが明らかになった。女性が多数の母性病棟実習では、男性は少数者であることから性差からの威圧を感じ、妊婦や産婦の心理的理解は困難なことがあるかもしれない。しかし、男子学生はそうした環境に順応し、妊娠褥婦との関係から自分自身を振り返り、抵抗感や不安が徐々に軽減し、看護師としてのアイデンティティが高まっていくのではないかと考える。男子学生が看護を真剣に学びたいという気持ちのあることを教員は真摯に受け止め、また、男子学生の性差に伴う抵抗感や躊躇する気持ちのあることも理解し、看護学の進行や実習体験などから多くの学びを得て、学生に「やれる」という自信がつくように支援・指導していかなければならない。

## VI 本研究の限界と今後の課題

本研究は、一大学の学生を対象としたものであり、結果を一般化するには限界がある。しかし、本研究の結果から、男子看護学生の母性看護を学ぶ意義は、看護師としてのみならず、日常生活や生きて行く上で有効な意義を見出せ、一人の人間として成長することにつながることの示唆を得ることができた。今後は、母性看護学実習環境の調整や、少数者である母性病棟での男子看護学

生の微妙な性差に伴う心理を理解した、具体的な指導方法の開発などを検討していくことが課題である。

### 謝 辞

本研究への協力を快く受けてくださいましたA大学看護学科の学生の皆様に深くお礼申し上げます。

### 引用・参考文献

- 1) 稲垣恵美、林マツノ(2002),男子学生の母性看護学実習に対する意識調査,日本赤十字愛知短期大学紀要, 13;61-75.
- 2) 菊永淳(2006),男子学生が母性看護学実習を行う意義とは,看護教育, 47(4);360-361.
- 3) 鈴木和子(2006),渡辺裕子:家族看護学,理論と実践,日本看護協会出版会;42-43.
- 4) 柏木恵子(2006),父親の発達心理学,川島書店,第3章;73.
- 5) 稲垣恵美、林マツノ(2002),男子学生の母性看護学実習に対する意識調査,日本赤十字愛知短期大学紀要,13;61-75.
- 6) 伊藤道子(1997),母性看護実習が看護学生の母性意識の発達に与える影響,母性衛生,38(1);25-33.
- 7) 北林司(2001),海外文献にみる男子看護学生と看護師の現況,看護教育,42(1);39-42.
- 8) 本田千浪、今井孝子(1989),男子看護学生の母性実習に関する調査,母性衛生,30(3);399-405.
- 9) 日隈たまえ(2003),男子看護学生の母性看護学実習前後における性役割観の変化,神奈川県立看護教育大学校,看護教育研究収録,28;138-145.
- 10) 豊田裕美子、岡長真由美(2001),男子学生の母性看護学実習指導に関する文献的考察,神戸市看護大学紀要,5;73-79.